

# 令和4年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」 振興奨励賞受賞団体の活動について

本年度の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の振興奨励賞は20団体が受賞しました。各団体の活動概要を紹介します。

**みる・とーぶプロジェクト実行委員会（北海道）**は、移住者たちによって立ち上げられた地域PR団体で、地域のつくり手による展

覧会を毎年開催してきた。市の要請を受け、2021年より閉校になった中学校の試験活用を開始し、地域住民や大学生たちと共に校舎をアートにより整備。校舎全体を使った展覧会やワークショップなどを開催している。

**釧路昭和中央6丁目町内会（北海道）**は、地域住民や小中高生の声を取り入れながら、町内会活動のデジタル化を進める。回覧板を

減らして公式LINEにて情報発信、会費のコンビニ払い化、オンライン会議にて公園の整備計画協議などの取り組みを実施。地域ぐるみで未来のリーダーを育成している。

**特定非営利活動法人エコパル化女沼（宮城県）**は、ラムサール条約登録湿地に指定された化女沼の環境保護を行う。また、自然の中で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちのために、毎月「里地里山探検隊」を開催。外来魚捕獲体験の他、山菜取りやホタルの観察会、渡り鳥観察など、四季を感じられる活動を実施している。

**仙台荒町子まもりプロジェクト実行委員会（宮城県）**は、小中学校・大学や社協、企業等合わせて16団体によって構成され、「ながら見守り365日へ」をテーマに防犯活動を実施。警備会社や警察署協力の元、防犯教



みる・とーぶプロジェクト実行委員会



釧路昭和中央6丁目町内会



特定非営利活動法人エコパル化女沼



仙台荒町子まもりプロジェクト実行委員会



赤羽緑地を守る会



浅羽・笠原まちづくり協議会生活支援ネットワーク



Hot Hot ~ほごほご~



びわ湖エコアイデア倶楽部



さんさん山城



西小おやじの会

の駄菓子屋営業、福祉施設利用者向けの行事を、施設利用者が商店街で地域交流を楽しめる行事へと発展させた「歩け歩け大会」の実施、災害時には地域交流スペースをボランティアセンターとして機能させ、物品搬送を実施するなど、世代や分野を越えた活動を行っている。

**浅羽・笠原まちづくり協議会生活支援ネットワーク（静岡県）**は、「住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり」を目標に掲げ、草取り・ゴミ出しなど、生活の「ちょっとした困りごと」を解消する家事支援を行っている。今年度からは実証実験として、自家用車でのドア・ツー・ドアの外出支援に乗り出している。

**Hot Hot ~ほごほご~（滋賀県）**は、リユースと食をテーマとした、地域でつながら、空き家6軒を活用し、地域サロン、障がい者向けグループホーム、地域食堂などを運営。各現場では高齢者が掃除や料理などそれぞれの役割を持ち、「地域のプレイヤー」として活躍している。

**特定非営利活動法人 Mam's Style（群馬県）**は、母親の自立支援をミッションとし、「子育てと仕事楽しむママの家」を開設。子ども服の「お下がり」に着目し、古着再利用を通じた親子の居場所づくりを行うほか、裁縫の仕事を提供するなどして困窮家庭への支援を行っている。

**白岡2山行政区会 山の公園企画運営部会（埼玉県）**は、雑木林や梨畑を借り受け、地域住民手作りの公園を開設。地域住民の集いの場や災害時の一時避難所として活用されている。夏祭り等のイベントやラジオ体操、防

る子育て支援に取り組む。リユース事業では、ベビー・キッズ用品や制服・体操服の譲渡会イベントを定期的に開催。子育て世帯の交流スペースや育児相談の場を設けている。食の観点からは、お弁当無償配布、親子食堂などの活動を実施している。

**びわ湖エコアイデア倶楽部（滋賀県）**は、琵琶湖の景観と生態系の保全を目的に、パナソニック株式会社くらしアプライアンス社の社員有志が設立した環境保全団体。環境保全部会と、子どもエコクラブを運営する子どもエコ部会により構成されている。環境保全部会では、ヨシ刈り、琵琶湖の一斉清掃、水環境の全国一斉調査などの活動を実施。子どもエコクラブでは子どもたちの体験活動を重視し、伝統漁法や食文化の体験、田植え、生き物観察会、水の循環についての学習などを

行っている。

**さんさん山城（京都府）**は、利用者の8割がろう者である就労継続支援B型事業所であり、利用者は地域活性化の原動力として活躍している。担い手不足が深刻化した碾茶や野菜の栽培、取立て野菜を使ったワンコインランチ提供などを行う。また、企業や料理店と連携し、児童養護施設の子どもたちを対象に食育・交流イベントを定期的に開催している。

**西小おやじの会（兵庫県）**は、子どもたちの体験機会が失われつつある昨今の状況において、子どもたちに思いに残るような体験をさせたいとの思いから活動をスタートさせた。国の重要文化財に指定された築80年の木造校舎を擁する西脇小学校を舞台として、肝試しや雑巾かけ競争など様々なイベントを実



一般社団法人えんがお



特定非営利活動法人 Mam's Style



白岡2山行政区会 山の公園企画運営部会



手賀沼まんだら



タコ足ケアシステム

室の開催、下校時の見守り活動、子どもたちが困ったときに商店街店舗に駆け込めるように、商店街での顔の見える関係性づくりを行う「子まもりハロウィン」などを実施している。

**赤羽緑地を守る会（茨城県）**は、市と協働で盆地を整備し、「赤羽緑地」（自然観察ふれあい公園）を開設。以後、赤羽緑地の保全活動をを行う傍ら、野鳥観察会・ザリガニ釣り・昆虫採集等を恒例行事として毎年実施。また、地域の小学生に記念植樹・種まき・球根根付けなどの作業を体験してもらい、自然保護の大切さを伝えている。

**一般社団法人えんがお（栃木県）**は、学生と共に高齢者宅を訪問し、生活支援サービスを実施している。中学生から大学生まで、年間1000人以上が活動に参加している。ま

た、空き家6軒を活用し、地域サロン、障がい者向けグループホーム、地域食堂などを運営。各現場では高齢者が掃除や料理などそれぞれの役割を持ち、「地域のプレイヤー」として活躍している。

**特定非営利活動法人 Mam's Style（群馬県）**は、母親の自立支援をミッションとし、「子育てと仕事楽しむママの家」を開設。子ども服の「お下がり」に着目し、古着再利用を通じた親子の居場所づくりを行うほか、裁縫の仕事を提供するなどして困窮家庭への支援を行っている。

**白岡2山行政区会 山の公園企画運営部会（埼玉県）**は、雑木林や梨畑を借り受け、地域住民手作りの公園を開設。地域住民の集いの場や災害時の一時避難所として活用されている。夏祭り等のイベントやラジオ体操、防

災訓練、屋外サークル活動等が実施され、地域に欠かせない存在となっている。

**手賀沼まんだら（千葉県）**は、子育て世代の母親たちが中心となり、「子どもも大人も本気で手賀沼の自然を遊び倒す」コミュニティとしてスタート。循環型農業の実践や、雑木林でのキャンプなどの外遊びを実施。また、コロナ禍での孤立の問題に対処するため、耕作放棄地を開墾して親と子どもたちのコミュニケーション「ごちゃにわ」を開設。一人暮らしの高齢者なども顔を出すようになり、地域の居場所としての役割を果たしている。

**タコ足ケアシステム（千葉県）**は、福祉事業所と地域住民が協働して立ち上げた地域ネットワーク。地域の困りごとを結び付けて解決している。地域交流スペースを利用して

施している。西脇小の卒業生や保護者も、運営側として楽しみながら参加している。

**東久代むつみ産直市場運営委員会（兵庫県）**

は、買い物難民対策として「産直市場」を開設。農家や製造事業所等の協力を得て地元の食品を販売している。民生・福祉委員、自治会役員等による生活・福祉相談や、小学校児童による学校菜園野菜の販売、地区夏祭りの復活など、市場に集う人が生き生きと輝けるような活動を展開している。



東久代むつみ産直市場運営委員会



認定特定非営利活動法人オリーブの家



特定非営利活動法人牟岐キャリアサポート



松山防災リーダー育成センター



健軍リバイタライズプロジェクト

**認定特定非営利活動法人オリーブの家（岡山県）**は、貧困母子家庭やDV被害者の支援に取り組む団体である。DV被害者のための保護シェルター運営、食糧・生活用品の支援、学習支援、心理カウンセリング、セミナー開催などの活動を展開している。

**松山防災リーダー育成センター（愛媛県）**は、「全世代型防災教育」に取り組む。毎年500名の防災士を養成するほか、小中学生を対象とした防災教育や、大学生向けのリーダー研修、地域防災士による住民研修、在住外国人対象の研修、教職員や福祉関係者への研修など、多岐にわたる防災研修を実施。防災教育を通じた人材育成と地域づくりを進めている。

**（徳島県）**は、学生による教育支援活動や地域活性化への取り組みを中間支援しており、中高生のキャリア教育、小中学校の総合的な学習の時間における他地域と連携した授業展開、中高生の「心の安全基地」をつくる「your place」プロジェクト（子どもの居場所づくり事業）等の取り組みを通して、若者の関係人口を創出している。

**健軍リバイタライズプロジェクト（熊本県）**は、30代から40代の若い世代が中心となり、学生らと協働しながら商店街の活性化を行っている。マルシェなどの単発イベント開催から、次のステップとしてシェアキッチンをオープンさせた。また、他地域にも当商店街を知ってもらうため、行政や大学の職員、地域企業などと会議を兼ねた交流会を実施。商店街での婚活イベントや、定期的なごみ拾い活動実施などの成果につなげている。

